



Rainbow letter

2018.3
No.14

日本周産期メンタルヘルス学会・ニュースレター

第30回日本総合病院精神医学会総会報告

第30回日本総合病院精神医学会総会が2017年11月17、18日の2日間にわたって富山の国際会議場にて開催されました(会長:富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座 鈴木道雄教授)。昨年の第29回総会に続き、周産期に関するシンポジウムが採択され、今回の総会では、当学会との共同シンポジウムとして「周産期メンタルヘルス対策において総合病院精神科医はどのような役割を担うべきか」というテーマのもと、5人のシンポジストによる講演が行われました。今回特筆すべき点は、岡野禎治理事長、鈴木利人理事、渡邊博幸理事、竹内に加えて、竹田省顧問にご参加いただき、産科側の立場からご講演をいただくことができたことです。メンタルヘルス問題に直面している産科医自身の生の声を、総合病院に勤務する精神科医に直接届けることができた貴重な機会になったと思われまます。また、岡野理事長からは「日本の周産期メンタルヘルス対策」、渡邊理事からは今年度当学会で作成した「周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド2017の使い方」について、鈴木理事からは「精神科医の周産期メンタルヘルスリテラシー向上のための課題」、そして竹内が「総合病院精神科医に期待される役割とは何か」といった演題にて話題提供が行われました。会場は昨年同様立ち見が出るほどの盛況ぶり、フロアからも多くの質問があり、総合病院精神科において周産期メンタルヘルス対策が喫緊の課題であることをあらためて認識する場になったと考えられます。来年の総会でも取り上げられることになりそうです。

(理事/竹内崇/東京医科歯科大学医学部附属病院精神科講師)

おしらせ 臨床で働きながら研究をしよう 統計の裏技とSPSSの使い方

昨年同様、日本周産期メンタルヘルス学会との共催で連続研修会「臨床で働きながら研究をしよう:統計の裏技とSPSSの使い方」を行います。コースは5月開講、月1回の週末、来年の1月まで続きます。本学会会員は受講料の割引があります。統計は全く分からないという臨床家が、入門コースから入って、最後は21世紀の最新の統計法まで習得できます。また、統計法だけでなく、研究計画の立て方、尺度の選び方、投稿の際の注意、査読で批判されたときの対応など、だれも教えてくれなかった臨床研究のコツが学べます。すでにある程度の知識を持っている方は中級コースから入るのがお勧めです。教材である「臨床で働きながら研究をしよう:統計の裏わざとSPSSの使い方」は公表発売中ですが、受講者には無料で配布されます。

会場:北村メンタルヘルス学術振興財団 会議室(地下鉄千代田線・代々木公園駅、代々木上原駅、小田急線・代々木八幡駅、代々木上原駅、井の頭線・駒場東大前駅からそれぞれ徒歩13分)

入門コース				中級コース			
第1回	5月5日(祭)	9:45-16:45	変数の変換, 研究計画書	9月23日(祭)	9:45-16:45	重回帰分析	
	5月6日(日)	9:15-16:15	臨床評価の信頼性	9月24日(日)	9:15-16:15	介入変数とその重回帰分析による証明	
第2回	7月15日(日)	9:45-16:45	スクリーニング法の妥当性	10月7日(日)	9:45-16:45	探索的因子分析	
	7月16日(祭)	9:15-16:15	chi-squared test	10月8日(祭)	9:15-16:15	確認的因子分析	
第3回	8月11日(祭)	9:45-16:45	t test, one-way ANOVA	11月3日(祭)	9:45-16:45	パス解析と共分散構造分析	
	8月12日(日)	9:15-16:15	Pearson 相関係数, 偏相関係数	11月4日(日)	9:15-16:15	介入変数とSEMを用いた計算	

詳細はHPあるいはメール
北村メンタルヘルス学術振興財団
<http://www.kitamura-foundation.org>
info@kitamura-foundation.org

2019年		上級コース	
第1回	1月13日(日)	9:45-16:45	検出力分析, 欠損値の多重代入法
	1月14日(祭)	9:15-16:15	クロス分析, 複雑な共分散構造分析

第15回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会 いま、あらためて「寄り添う」を考える

日時:2018年10月27日(土)・28日(日)
場所:神戸女子大学ポートアイランドキャンパス
大会長:玉木敦子(神戸女子大学看護学部看護学科教授)

◆参加申込と一般演題募集を開始しました。
詳細は学会Webサイト「第15回学術集会」でご確認ください。
お申込み・ご応募をお待ちしております。



((投稿記事募集!))

会員の皆様にとって有用な情報をニュースレターで取り上げていきます。
詳しくは学会Webサイト (<http://pmh.jp/index.html>, QRコード (→))
または、学会事務局 (mental-3@hac.mie-u.ac.jp) まで。
*企画・発行:日本周産期メンタルヘルス学会 事務局・情報関連委員会

